



タック TACの家庭菜園教室



TAC（タック＝営農経済渉外）が家庭菜園を行う際のポイントや注意点などをじっくり分かりやすく解説いたします！

タマネギの定植について

【苗を植えよう！】

マルチを使って圃場にたまねぎを定植する時は、マルチに割り箸等で穴を開けるか、予め穴の開いたマルチを使用して、株間と条間（列と列の間）を 15 cm、畝幅は概ね 75 cm 程度で定植します。プランター栽培の場合は株間と条間を 12 cm 程度にし、1・2 列に 5～7 本植え付けます。※植える列数や本数はプランターのサイズに合わせて適宜調整しましょう。



マルチの保温効果で低温期でも地温を確保でき、土壌の乾燥防止や雑草の抑止効果などが期待できます。



左の写真のような、花の植え付け等で使用する一般的なプランターでも栽培可能です。

苗のうちは小さいので密集して植えてしまいがちですが、密集して植え付けると小玉傾向になるので、株間はきちんとあけましょう。



【植え付け時に注意することは？】

圃場に定植する場合、深植えすると伸びが悪くなってしまうため、白い部分が地上に少し出る程度の深さに植え付けましょう。プランター栽培の場合は、しっかり植え付けて大丈夫です。大きく育った苗を植え付ける時は、上部を5～6 cmカットして植えると倒伏しにくく安定した植え付けになります。

「ダイアジノン粒剤 5」を10 aあたり3～5 kg程度、作付けする土壌によく混ぜ合わせてから定植すると、タマネギバエやタネバエ、ケラなどの害虫対策になります。

【定植後は栄養補給しよう】

定植後は2回程度追肥を行いましょう。1回目は12月上旬～中旬、2回目は2月末～3月上旬を目安に行ってください。あまり遅くなってから追肥を行うと肥大しにくくなってしまうので、3月上旬以降の追肥は控えましょう。

なお、厳寒期は霜柱による苗浮きを防ぐため、土寄せを行うと良いでしょう。

TACのおすすめは
こちらの商品！

ダイアジノン粒剤 5

タマネギバエやタネバエ、ケラなどの害虫対策に！



国産化成肥料 14-14-14

正味 20kg

供給 金剛

国産化成肥料 14-14-14

タマネギ定植後の追肥にオススメです！

栽培に関する疑問など、お気軽にTAC（タック）までお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ JA足利 営農振興課 ☎0284-22-4433(担当:TAC)

または 経済課 ☎0284-70-3071 富田センター☎0284-43-8880

北支店(経済)☎0284-43-8880 西支店(経済)☎0284-65-1139